



令和8年7月1日
北九州市環境局

報道機関各位

【第2弾！】Zero-Carbon HIBIKI プロジェクト

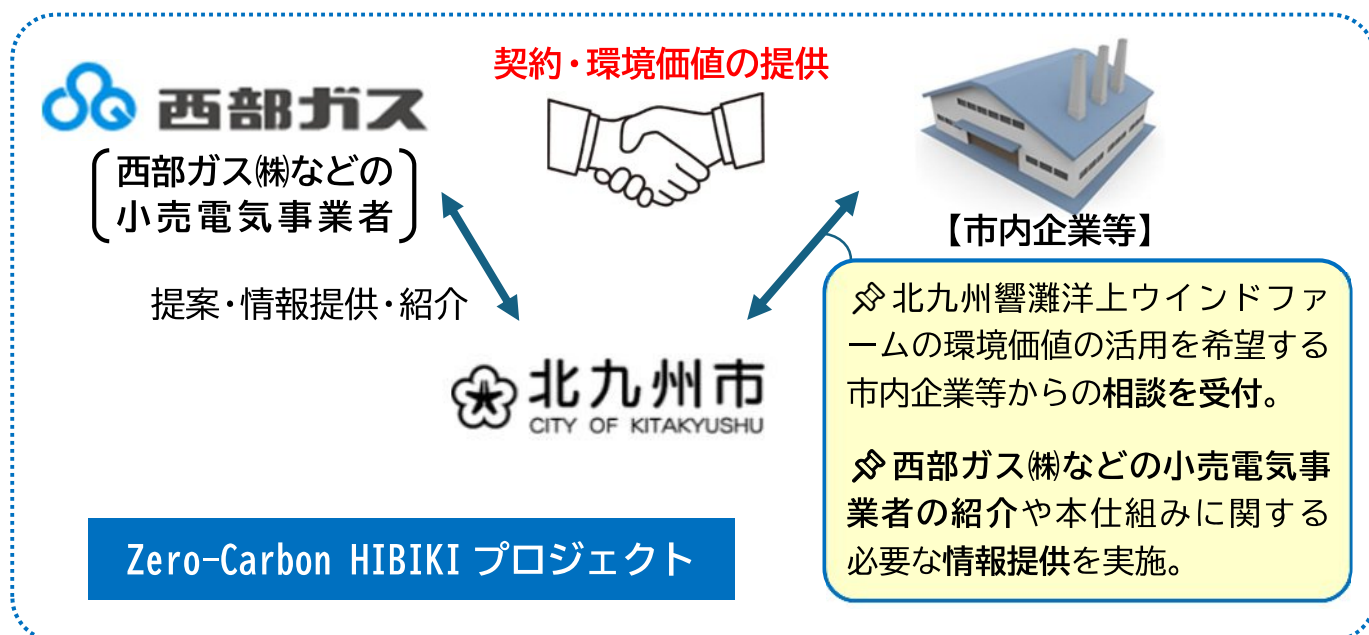
西部ガス(株)と北九州市が連携!!

響灘洋上風力の環境価値※を活用し、地域の脱炭素化を後押し

北九州市は、Zero-Carbon HIBIKI プロジェクトの一環として、西部ガス株式会社(本社:福岡市、代表取締役社長:加藤 卓二)と、国内最大級の「北九州響灘洋上ウインドファーム」由来の環境価値を電気契約とセットで市内企業等が活用できる仕組みを構築しました。

プロジェクト第2弾となる本仕組みは、市内企業等の需要家が、同風力発電所由来の環境価値をセットにした西部ガス(株)の電力メニューを契約することで、実質的に地域の再エネを利用できるものです。

第1弾でJパワーが提供する「環境価値のみを個別に購入する」手法に加え、今回の第2弾により「電力契約そのものを切り替える」選択肢が加わります。これにより、企業のニーズに合わせた多様な脱炭素経営が可能となります。



市は引き続き小売電気事業者等との橋渡しを行い、地域企業のサステナブルな取り組みを強力に後押しします。

なお、北九州市の公共施設においても本仕組みを活用した脱炭素化を推進し、地域全体の再エネ利用拡大に向けたモデルケースとして展開します。

契約の概要等は別紙「西部ガス(株) プレスリリース」をご覧ください。

※ 環境価値:再生可能エネルギーなどの電気が持つ「CO₂を排出しない」という付加価値のことで、使用する電力を再エネ由来として主張することができます。

<問い合わせ先>

環境局再生可能エネルギー導入推進課

電話 093-582-2238 担当 玉井、安川